

2010年5月20日

報道関係 各位

コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社

社会とともに持続的な成長を遂げることを目指して、コカ・コーラが提案する新型自動販売機

「eco る/ソーラー」自動販売機

岐阜県内での第1号機を、5月13日に設置

- 搭載したソーラーパネルによる蓄電で、「夜間照明の消費電力量ゼロ」^{*1}を実現！

コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社（本社：横浜市西区みなとみらい 2-2-1、代表取締役社長：高橋 顕三）は、近年ますます社会的関心が高まりつつある地球環境に配慮した新たな自動販売機として開発された「eco る/ソーラー」自動販売機を、2010年5月13日より、岐阜県内の「岐阜新聞・岐阜放送ハウジングギャラリー 県庁前（住所：岐阜市藪田東 1-3-20）」に設置しました。

この「eco る/ソーラー」自動販売機の最大の特長は、自動販売機本体の上部に設置したソーラーパネルにより、夜間照明の消費電力量ゼロを実現したことです。加えて、より高い省エネ性能を実現するため、製品ディスプレイ部分には LED 照明を使用し、既存の環境配慮型自動販売機と同様にヒートポンプ機能を搭載、更にはノンフロン冷媒や最新の真空断熱材を使用しています。



コカ・コーラシステム^{*2}では「Live Positively -世界をプラスにまわそう-」という世界共通の事業指針のもと、社会と共に持続的に成長していくことを目指して、各事業プロセスにおいて様々な取り組みを行っています。

国内の自動販売機チャネルにおいても、冷媒のノンフロン化、国内 No.1 の省エネ性能を実現した次世代自動販売機の展開、そしてノンフロン・ヒートポンプ機能を搭載した“eco る自動販売機”の設置拡大など、清涼飲料業界におけるリーダーとして、これまでもいち早く環境保全に対して様々な取り組みを行ってきました。

今後も自動販売機の利用者に対しても環境への取り組みを力強く訴求することで、自動販売機そのものの価値向上に努めてまいります。



<本件に関する報道関係からのお問い合わせ先>

コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社 広報・CSR推進部 原田

TEL. 052-723-3170 / FAX. 052-723-3510

「ecoる/ソーラー」自動販売機 概要

【特長】

- 夜間稼働時の照明の消費電力を、全てソーラー発電でカバーし、消費電力ゼロを実現
 - ・ 一目で環境に配慮していることが判るソーラーパネルを設置
 - ・ 製品ディスプレイに LED 照明を用いることで、人感センサーとの組み合わせで省エネを実現
- 国内 No.1^{※3}の省エネ性能を誇るコカ・コーラの次世代自動販売機「ecoる/E40」と同等の省エネ性能の実現
 - ・ ノンフロン・ヒートポンプ機能の搭載、最新の真空断熱材の使用などによる高い省エネ効果



※1 ソーラー発電による点灯可能な夜間照明の条件(理論値)

- ・ JIS 規格に基づき夜間を 12 時間とする
- ・ 待機時はイルミネーション点灯、販売時は全点灯とする
- ・ 自動販売機の全販売量(販売回数)の 1/3 が夜間の販売とする
- ・ 1 日 3.3 時間の発電でバッテリーは満充電になる
(3.3 時間: 気象データより算出した「1 日あたりの平均発電可能時間」)

※2 コカ・コーラシステム: 日本コカ・コーラと国内 12 のボトリング会社などで構成される企業体の総称

※3 当社従来機の同年同機種と比較して、約 40%の省エネを実現